

## 財政調整基金等の残高・管理の考え方等について

財政調整基金等の令和3年度末の残高及び基金管理の考え方については、下記のとおりとしています。

基金名	残高・活用方法等
<b>財政調整基金</b>	<p>令和2年度末 基金残高 1, 558, 568千円            令和3年度 積立見込額 492, 655千円            令和3年度末 基金残高 2, 051, 223千円            ※令和2年度一般会計実質収支額 864, 199千円</p> <p>本年度は、前年度実質収支額の2分の1相当額を積み立てるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による事業休止等に伴い予算減額となった一般財源所要額分（60, 542千円）等を積み立て、次年度以降の市税等の減収に備える。</p> <p>今後については、経済状況等の変化に対応できるよう適正な基金管理をするとともに、取り組むべき事業の財源として活用する。</p>
<b>減債基金</b>	<p>令和2年度末 基金残高 151, 871千円            令和3年度 積立見込額 470, 733千円            令和3年度末 基金残高見込額 622, 604千円</p> <p>本年度は、令和3年度普通交付税において措置された臨時財政対策債償還基金費分221, 437千円の積み立てを行うとともに、令和3年度に借入を予定していた旧磯原中学校解体工事の財源に充てる地方債を一般財源で対応したため、その借入相当額分（249, 000千円）等を積み立てる。</p> <p>今後については、次年度以降の市債償還額が増加する見込みであることから、年度間の財政負担を軽減するため公債費の財源として活用する。</p>

※ その他、特定目的基金については、積み立てるべき原資が収入された場合等に積立を行う。その後、基金を活用すべき事業を実施する際の財源として活用する。